

第2問 微分法・積分法

$$f(x) = 2x^3 - 3(2k+1)x^2 + 12kx + 1.$$

$f(x)$ の導関数 $f'(x)$ は

$$\begin{aligned} f'(x) &= 6x^2 - 6(2k+1)x + 12k \\ &= 6(x - \boxed{1})(x - \boxed{2}k) \end{aligned}$$

である.

$k > \frac{1}{2}$ より, $2k > 1$ であるから, $f(x)$ の増減は次のようになる.

x	...	1	...	$2k$	...
$f'(x)$	+	0	-	0	+
$f(x)$	↗	極大	↘	極小	↗

よって, $f(x)$ は

$$\text{極大値 } f(1) = \boxed{6}k,$$

$$\text{極小値 } f(2k) = \boxed{-8}k^3 + \boxed{12}k^2 + \boxed{1}$$

をとる.

$g(k) = -8k^3 + 12k^2 + 1$ とすると, $g'(k) = -24k(k-1)$ であり,

$k > \frac{1}{2}$ における $g(k)$ の増減は次のようになる.

k	$\left(\frac{1}{2}\right)$	...	1	...
$g'(k)$		+	0	-
$g(k)$		↗	5	↘

よって, k を $k > \frac{1}{2}$ の範囲で変化させると, $g(k)$ は

$$k = \boxed{1} \text{ のとき, 最大値 } \boxed{5}$$

をとる.

$k=1$ とすると

$$f(x) = 2x^3 - 9x^2 + 12x + 1,$$

$$f'(x) = 6x^2 - 18x + 12$$

$$= 6(x-1)(x-2)$$

であり, $f(x)$ は $x = \boxed{1}$ で極大, $x = \boxed{2}$ で極小となる.

よって, 2点 A, B の座標は A(1, 6), B(2, 5) である.

放物線 $C: y = -x^2 + ax + b$ が 2点 A, B を通ることから

$$\begin{cases} 6 = -1 + a + b \\ 5 = -4 + 2a + b \end{cases}$$

となる. したがって

$$a = \boxed{2}, \quad b = \boxed{5}$$

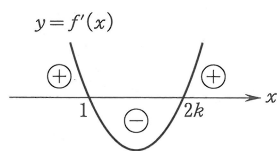
であり, $C: y = -x^2 + 2x + 5$ である.

導関数

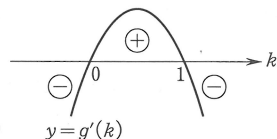
$$(x^n)' = nx^{n-1} \quad (n \text{ は自然数})$$

$$(c)' = 0 \quad (c \text{ は定数}).$$

$f'(x)$ の符号は, $y=f'(x)$ のグラフで判断するとよい.



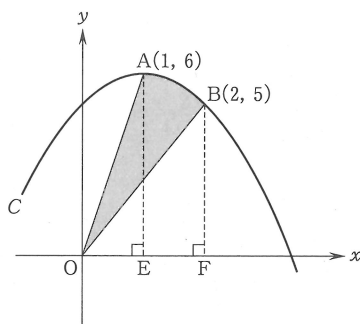
$g'(k)$ の符号は, $y=g'(k)$ のグラフで判断するとよい.



$f(x)$ の増減表から, $x=1$ で極大,
 $x=2k=2$ で極小となる.

$$f(1) = 6, \quad f(2) = 5.$$

線分 OA と線分 OB および放物線 C で囲まれた図形を D とすると, $C: y = -(x-1)^2 + 6$ より, D は次図の影の部分である.

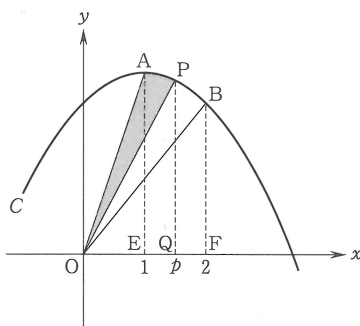


2点 E, F を $E(1, 0)$, $F(2, 0)$, D の面積を S とすると

$$\begin{aligned} S &= \triangle OAE + \int_1^2 (-x^2 + 2x + 5) dx - \triangle OBF \\ &= \frac{1}{2} \cdot 1 \cdot 6 + \int_1^2 (-x^2 + 2x + 5) dx - \frac{1}{2} \cdot 2 \cdot 5 \\ &= \left[-\frac{1}{3}x^3 + x^2 + 5x \right]_1^2 - 2 \\ &= -\frac{1}{3}(2^3 - 1^3) + (2^2 - 1^2) + 5(2 - 1) - 2 \\ &= \frac{11}{3} \end{aligned}$$

である.

放物線 C 上に点 $P(p, -p^2 + 2p + 5)$ をとる. 線分 OP が D を面積の等しい二つの図形に分けるので p は $1 < p < 2$ を満たす.



$Q(p, 0)$ とする.

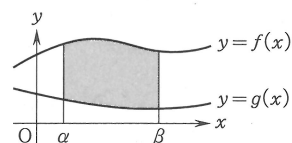
D のうち直線 OP の上側の部分の面積は, 上図の影の部分であり, その面積を T とすると

$$\begin{aligned} T &= \triangle OAE + \int_1^p (-x^2 + 2x + 5) dx - \triangle OPQ \\ &= \frac{1}{2} \cdot 1 \cdot 6 + \int_1^p (-x^2 + 2x + 5) dx - \frac{1}{2} p(-p^2 + 2p + 5) \\ &= \left[-\frac{1}{3}x^3 + x^2 + 5x \right]_1^p + \frac{1}{2}p^3 - p^2 - \frac{5}{2}p + 3 \end{aligned}$$

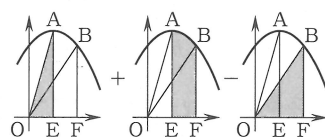
面積

区間 $\alpha \leq x \leq \beta$ においてつねに $g(x) \leq f(x)$ ならば 2 曲線 $y=f(x)$, $y=g(x)$ および 2 直線 $x=\alpha$, $x=\beta$ で囲まれた図形の面積 S は

$$S = \int_{\alpha}^{\beta} \{f(x) - g(x)\} dx.$$



D の面積を次のように求めた.



不定積分

$$\int x^n dx = \frac{1}{n+1} x^{n+1} + C.$$

($n=0, 1, 2, \dots$, C は積分定数)

D の面積を求めたときと同様に考えた. また, 点 P の y 座標は正である.

$$\begin{aligned}
 &= -\frac{1}{3}p^3 + p^2 + 5p - \left(-\frac{1}{3} + 1 + 5\right) + \frac{1}{2}p^3 - p^2 - \frac{5}{2}p + 3 \\
 &= \frac{1}{6}p^3 + \frac{5}{2}p - \frac{8}{3}
 \end{aligned}$$

である.

線分 OP により D が面積の等しい二つの図形に分けられるので,
 $T = \frac{1}{2}S$ より

$$\frac{1}{6}p^3 + \frac{5}{2}p - \frac{8}{3} = \frac{1}{2} \cdot \frac{11}{3}$$

すなわち

$$p^3 + 15p - \boxed{27} = 0 \quad \dots \textcircled{1}$$

が成り立つ.

ここで, $h(x) = x^3 + 15x - 27$ とおくと, $h'(x) = 3x^2 + 15 > 0$ であるから, $h(x)$ は単調増加である. さらに

$$h\left(\frac{4}{3}\right) = -\frac{125}{27} < 0, \quad h\left(\frac{5}{3}\right) = \frac{71}{27} > 0$$

であるから, $y = h(x)$ のグラフは x 軸とただ一つの共有点を持ち,

それは $\frac{4}{3} < x < \frac{5}{3}$ の部分にある.

①を満たす p は, 方程式 $h(x) = 0$ の実数解, すなわち $y = h(x)$ のグラフと x 軸の共有点の x 座標であるから, p の値は不等式 $\frac{4}{3} < p < \frac{5}{3}$ を満たす. よって, $\boxed{\text{ト}}$ に当てはまるものは $\boxed{\textcircled{0}}$ である.

← $y = h(x)$ のグラフは下図のようになる.

